

<先週の説教から>

『黙示録④一主に結ばれているなら』

詩編 23:1~6 ヨハネの黙示録 14:13

「先生、人は何のために生きていますか?」「何を求めて生きていくのですか?」という質問を受けることがあります。皆様はそのような疑問を自ら持たれたり、尋ねられたことはないでしょうか。その質問にはどう答えたらよいでしょう。私は「人は幸せになるために生きていてはいませんか?」「幸せを求めて生きていてはいませんか?」と答えることにしています。これは私個人の意見というより、聖書全体がそう答えていると思うからです。

例えば、旧約聖書の詩編の冒頭、1編の1節は「いかに幸いなことか」という言葉で始まっています。これは原文で(アシュレー)という言葉ですが「幸せな者とは~のような人だ」という意味を持つ言葉です。まさに《幸せ者》を最初に定めている(=幸者の定義)のです。これは詩編全体が、この幸いな者になるための道や方法を教えようとしていると採れます。また、新約聖書でも、その最初はマタイによる福音書ですが、イエス様が為さった説教を集めている5~7章に於いて、冒頭という言葉が「心の貧しい人々は、幸いである」なのです。この言葉も原文では最初に(マカリオイ)から始まります。実はこの言葉は、先ほどの(アシュレー)のギリシア語訳であり「幸せな者とは~のような人だ」という同じ意味を表すのです。イエス様も、人が生きる目的は《幸せになること》だと考えておられ、すべての人に真の幸せを与えようと考えておられたのだと言い得るのです。

そして、このヨハネの黙示録こそ、その人間の幸せを最も強く意識している書物なのです。なぜなら(マカリオイ、単数形ではマカリオス)が7回も登場しているからです。「7」という数字は、聖書全体で特別な数字=完全数と考えられています。故に、黙示録はこの7つの「幸せ」を収めた者は、完全な幸せに達すると考えていると言い得るのです。その1回目の(マカリオイ)は1章3節「この預言の言葉(=ヨハネの黙示録)を聞いて、守る人は幸いである」です。そして二回目が今日の箇所「今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである」なのです。解説者の中には、この言葉こそ黙示録

の中心聖句だとか、全体のテーマを示していると言われる方もおられます。それ程、重要な意味を持っていると。ただ、一方で、この言葉は異彩を放っているとも言えます。なぜなら、黙示録の他の6つの幸せ者がいずれも、今生きている人やこれからそのような生き方をして行こうとしている人であるのに比べて、この14章13節の言葉は、幸いである人が「死者(ネクロン)」だと言われているからです。主に結ばれて(=信仰を持って)「死ぬ人」が幸せ者だと言われているのです。この言葉がキリスト者の臨終の時や教会での葬儀の時にふさわしいと言われている点も分かります。

では、なぜ幸せなのでしょう? それは天に召されるからです。「主に結ばれた」者は、たとえ死んだとしても、イエス様との結びつきは切れることがなく、天へと招かれ神様のふところでの真の平安と安らぎを与えられるからです。それが次の言葉の意味です。「霊(=聖霊)も言う。『然り、彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。その行いが報われるからである。』」と。私たちがこの世で生きて行く時に、どうしても苦しみや束縛、体や心の不自由さを感じながら生きていかなければなりません。それ故に辛い思いをする時もあります。しかし、天に召された者はもはやそのような束縛や苦しみから解放されて、真の平安に包まれるであろう。私たちにとって求むべき《究極の幸せ》と言い得ます。

その際、間違っただけではないのは最後の言葉「その行いが報われるから」です。この翻訳では、いかにも正しい行いや善行が報われて、天に行くかのように読んでしまいます。たとえ、行いを信仰だと言い替えても「業」には違いないと読んでしまいます。実は「報われる」と訳されている言葉(アコリュースイ)の原意は(同じ道を歩む=後からついて来る)という意味です。故に「(主に結ばれて、信仰を持って歩むなら)その行いは後から付いて来る」から、心配するなという意味と採るべきなのです。神様を信じて生きるなら、神様がその人の人生をちゃんと導いてくださる、良き道を備えてくださるという意味なのです。まさに詩編23編3節「主は御名にふさわしく(=御名を求め故に)わたしを正しい道に導かれる」のです。私たちが正しいからではないのです。これを信じて生きることが《信仰者の幸い》なのです!

No. 62 - 5

週報

2020年度 教会標語

「生活の真ん中に礼拝する心を！」

2021年 1月31日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>